

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	音楽振興事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	文化振興課							
	事業期間	平成14年度			～	平成30年度以降			担当係	文化振興係						
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		20 文化・芸術											
		副目的														
	予算区分	款	10		項	5		目	5		大	3		中	2	
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	17 %			委託	83 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	音楽講座等を通して、音楽の歴史・時代背景・地域性・楽器等について学ぶことにより、市民の音楽への関心を高めるとともに、音楽鑑賞の幅を広げ音楽愛好者の拡大を図る。														
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽鑑賞講座(3,800千円) 名古屋芸術大学と連携して、生演奏とレクチャー形式の5回の講座を実施した。幅広いジャンルの音楽をあらゆる角度から解説を交えながら演奏を楽しむ内容とし、最終回は中部フィルハーモニー交響楽団との共演でミュージカルを提供した。 ・わくわくワークショップコンサート(250千円) 日本古来の伝統楽器の演奏を聴く機会を提供した。前日には、実際に楽器に触れ解説を聞くワークショップを実施し、当日、出演者と共演した。 ・サンデーコンサート(1,037千円) 市民団体(ポルタメント小牧)との協働により各市民センターで年5回のサンデーコンサートを実施した。毎月第1日曜日の昼に味噌市民センターロビーを利用したふれあい音楽広場を実施し、公民館でも6回のロビーコンサートを実施した。職員は、出演者との日程、曲目、演奏順等を調整するとともに機材の配置、転換、照明、音響等について舞台技術者と調整、チラシ作成、事前PR、コンサート当日の運営を実施。 ・オーケストラ演奏鑑賞事業(25,933千円) 小学校8校、中学校3校に対して本格的なオーケストラによるコンサートを学校で行い、クラシックを身近に感じ音楽への関心を高めた。職員は、学校からの日程・演奏曲目等の要望をとりまとめ、中部フィルと演奏会に向けて調整した。また、幼稚園11園、保育園19園を対象に中部フィルハーモニー交響楽団によるアンサンブル演奏を提供した。 ・音楽指導(6,368千円) 市内小中学校・高等学校へ中部フィルハーモニー交響楽団の楽団員・指揮者を派遣し技術指導を実施した。 ・アマチュア演奏家合同演奏会(6,000千円) アマチュア演奏家と中部フィルハーモニー交響楽団による合同演奏会を実施し21名参加した。 <p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手演奏家育成事業を実施し、中部フィルとの共演コンサートにより若手演奏家の育成を図る。 ・音楽鑑賞講座に小牧山城築城450年に因んだ楽曲を選曲する。 														
受益者負担	・音楽鑑賞講座受講料834,000円(3,000円×212名、1,500円×3名、1,000円×179名、500円×29名)・ワークショップ受講料119,000円(1,000円×119名)・アマチュア演奏家合同演奏会541,000円(参加費5,000円×18名、3,000円×4名、入場料1,000円×419名、500円×40名)															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円			47,389	45,850	
		正職員	従事者数	人			0.20	0.20
			人件費	千円	0	0	1,063	1,063
		その他職員	従事者数	人			1.00	1.00
			人件費	千円			2,379	2,379
		費用合計	千円	0	0	50,831	49,292	
	対前年比	%			皆増	96.9		
財源	一般財源	千円	0	0	49,337	47,487		
	国・県支出金	千円			0	0		
	その他財源	千円			1,494	1,805		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	音楽鑑賞講座	回	目標		6	6	6
実績				6	6	5	
音楽指導申込学校数	校	目標		—	—	—	—
		実績		20	26	26	
派遣楽団員・指揮者数	人	目標		—	—	—	—
		実績		—	318	375	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	音楽鑑賞講座受講者数	人	目標		400	400	400
実績				289	262	215	
サンデーコンサート来場者数	人	目標		1,500	1,500	1,500	1,400
		実績		885	1,202	1,284	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>全5回の音楽鑑賞講座を実施し、延べ1,078名の受講者があった。生の本格的な演奏と大学教授によるレクチャーは、他では体験できない講座であるが、受講者数は目標を達成できなかった。サンデーコンサートは、多様な内容の企画により定着してきているが、来場者は目標を達成できなかった。オーケストラ演奏鑑賞事業は、他市ではあまり実施していない事業であり、学校で生の演奏を聴くよい機会となった。また、部活動や音楽授業における音楽指導事業により小中学生・高校生のレベルアップが図れた。</p> <p>事業実施における課題等</p> <p>音楽鑑賞講座は講座としてではなくコンサートとしての要素が強いため、実施の方法に工夫が必要であると考え。サンデーコンサートは、ポルタメント小牧の活動がより主体的な発展につながるよう支援していく。オーケストラ演奏鑑賞事業及び音楽指導は、学校との調整が必要であるが、理解と協力を得ながら連携して事業を推進していく。</p> <p>事業を縮小・廃止したときの影響</p> <p>音楽鑑賞講座は、音楽の歴史や背景を知ったうえで、生の本格的な音楽を聴くよい機会が失われる。サンデーコンサートは、演奏家同士の交流や地域との交流が停滞するほか、市民に対しても無料で気軽に楽しむ機会がなくなる。オーケストラ演奏鑑賞事業は、身近でプロの本格的な生の演奏を聴く機会を失う。音楽指導は、子どもたちの音楽に対する高度な指導が果せなくなる。</p>
	今後の事業の方向性	<p>方向性の判定</p> <p style="text-align: center;">現状維持</p> <p>判定理由</p> <p>音楽鑑賞講座は、単なるコンサートで終わらせず、受講生が音楽の魅力を理解し知識を蓄え、継続的に音楽に触れられるような仕組みづくりをする必要がある。サンデーコンサートは、市とポルタメント小牧が協働し手づくりのコンサートを改善しながら実施していくことが望ましい。オーケストラ演奏鑑賞事業及び音楽指導は、学校と調整しながら変化を持たせ、より効果的に事業を推進していく必要がある。</p> <p>改善案等</p> <p>音楽鑑賞講座のPRを充実させ、1回ずつの講座としての価値を高める方法を検討し、総受講者数の増加を図る。サンデーコンサートは、ポルタメント小牧の会員を増やしながら、市民ニーズに対応し幅広いジャンルの音楽の提供をめざす。音楽演奏鑑賞事業は、子どもの頃からクラシック音楽に親しみ、音楽に興味を持てるよう工夫する。音楽指導は、学校の指導希望日との調整が困難だが、小中学生・高校生の音楽に対する関心をさらに深める。</p>

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。ただし、文化振興事業に占める音楽振興事業の経費が大きいことから、経費削減に努めること。特に3事業をローテーションで行っている旧の音楽活動促進事業は、ローテーションが2回終了していることから、事業全体を見直すこと。